

令和3年度 社会福祉法人 広寿会
事業報告(案)

当法人の理念である個人の尊厳と自立支援に基づき、法令の遵守に努め、地域福祉、介護保険の拠点としての役割を果たせるよう福祉サービスの質の向上をめざして職員教育を行ってきた。そして、職員一人ひとりがやりがいを持って職務に従事できるよう全員参加で委員会を遂行し、職員一人ひとりが責任を持って職務に臨めるよう図っていった。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行がまだ続く中、引き続き法人内から感染者を1人も出さないようにと可能な限りの感染対策を講じてきた。感染予防の対策は福祉施設での限界もあり十分な対応も出来なかったが、今のところ家庭内感染の職員が数名ただけで、施設内での感染者は出ていない。また、諸会議、研修は感染予防に努めつつ可能な形で行ってきたが、様々な行事は人が集まって行うことが出来ず断念したものが多かった。コロナ禍はいつ治まるとも先は見えないが引き続き感染予防対策を行い事業の継続に努めていく。

1. 概況報告

① 利用者の状況

事業名	区分	定員 (名)	現員 (名)	月平均延利用人員 (名)	入退所人員		職員数 (名)
					入所	退所	
特別養護老人ホーム 足原のぞみ苑		80	80	2,365	31	31	66 (18)
足原のぞみ苑 ショートステイ		20	平均 13.7	372	—	—	上記に 含む
足原のぞみ苑 ユニット		20	20	602	4	4	13
足原のぞみ苑 デイサービスセンター		40	平均 22.6	588	—	—	13 (3)
ケアプランセンター 足原のぞみ苑		115	99	95.2	—	—	3

() : 非常勤 再掲

令和4年3月31日現在

② 理事会・評議員会等の状況

年 月 日	事 業 内 容
2. 5. 19	特養、ユニット入所判定委員会
5. 25	監事による監査
6. 3	第1回理事会 報告事項 1. 理事長専決事項について 2. 令和2年度老人福祉施設一般指導監査結果について 議案 1. 社会福祉法人広寿会給与規程の一部改正について 2. 令和2年度事業報告(案)の承認について 3. 令和2年度資金収支決算報告(案)の承認について 4. 社会福祉法人広寿会評議員の推薦について 5. 定例評議員会の招集事項について
6. 28	定例評議員会 報告事項 1. 評議員選任・解任委員会の結果について 2. 令和2年度老人福祉施設一般指導監査結果について 3. 令和2年度事業の報告について 議案 1. 令和2年度決算報告について 2. 理事の選任について 3. 監事の選任について
6. 28	第2回理事会 議案 1. 理事長の選任について
11. 16	特養。ユニット入所判定委員会

11.26	<p>第3回理事会</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長専決事項について 2. 令和3年度事業の進捗状況について 3. 令和3年度資金収支中間報告について <p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 2. 社会福祉法人広寿会経理規程の一部改正について 3. 社会福祉法人広寿会就業規則の一部改正について 4. 介護福祉士実務者養成施設の開設について
4.3.2	<p>第4回理事会</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長専決事項について 2. 老人福祉施設一般指導監査結果について <p>議案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人広寿会給与規程の一部改正について 2. 令和4年度事業計画について 3. 令和4年度資金収支予算について

2. 取組みについて

① 地域活動

社会福祉法人の責務である地域における公益的な取り組みとして、地域との合同行事である盆踊り大会、餅つき大会はコロナ禍であるので前年と同様に中止した。例年、市民センターや民生委員、福祉協力員との連携を図り、生活安全パトロールやまち美化活動、夏祭りなど市民センターの活動にも参加していたが、これも行うことができなかった。地域活動が可能な状況になれば地域の人々の安心な生活のために活動を再開していく。

8月に台風9号が接近したため、福祉避難所を開設し、自然災害時の指定避難所に行けない人、避難所での生活が困難な人の受け入れの準備を行ったが避難者を受け入れる事態にならずに済んだ。また、豪雨による避難所の開設時には、事前にショートステイ利用として1名受け入れた。

活動内容については以下のとおり。

地域活動

年 月 日	事 業 内 容
3. 8. 8 7	福祉避難所開設 台風9号接近による避難 避難者なし
3. 8. 13 ～15	福祉避難所開設 豪雨による避難 避難者1名（ショートステイ利用）
3. 10. 16	講演 足原福祉会 連絡調整会議にて 演題 「共生社会の実現に向けて」 —誰もが自分らしく安心して暮らせるために— 講演者 理事長、 ケアプランセンター管理者 在宅部部長
3. 11. 6	感謝状授与 足原校区まちづくり協議会より 地域活動、福祉避難所に対する感謝として
※ 毎月参加 (今年度は数回 の参加しか出来 なかった)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活安全パトロール 足原校区（月1回）、霧ヶ丘校区（月2回） ・まち美化活動（月1回）

② 職員教育の充実

ア 施設外の研修（随時）

施設外研修は職種、経験を考慮して参加

施設内の研修（月1回）

イ 喀痰吸引等研修

喀痰吸引、胃瘻等の医療的ケアが実施できる人材を確保するため
研修を行い、施設介護職員の全員が医療的ケアが可能な体制とする。

ウ 介護ロボット導入

職員不足の中、利用者と職員の負担を軽減し、効率の良い働き方の実現のため、有効と思われる「インカム」「見守りセンサー」「記録システム」の導入を行い、無駄な動きをなくし効率の良い働き方が出来るようにした。

エ ノーリフティングケア

「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」の実証実験施設としてノーリフティングケアに取り組み、利用者、職員共に負担の少ない介護技術を習得していった。

③ 持続可能な人事制度の構築

ア 職員のキャリアアップ

アセッサーの資格を持つ職員が年2回の面談を行い、職員のキャリアアップを推進・支援するために知識と実践的スキルを評価し、客観的に自分の能力を理解してレベルアップを目指せるようにしている。

イ 資格取得の支援

I 資格取得のための助成金制度

職員のレベルアップのため、資格取得の支援のため、研修費用の一部負担を行っている。

II 介護福祉士養成施設の開設

法人内で講習を受けられるという介護福祉士の資格を取得しやすい環境を作り、資格取得者を増やしていく。また、求人に際しては意欲的な職員確保のための有効な条件となる。

3. 今後の課題

ア 感染症や災害への対応力強化

感染症蔓延防止のため施設の改修は可能な部分では行えたので、業務を継続させるためにさらなる取り組みが必要である。

イ 外国人技能実習生の受け入れ

職員不足の緩和と海外への技能・技術の移転を図ることを目的として、外国人技能実習生の受け入れを今後も進めていく。

ウ 地域貢献活動

コロナ禍のなかで実行可能な地域貢献活動を探っていく。

エ 先進的な介護

介護ロボットの導入やノーリフティングケアのための環境設備には高額な費用がかかるので、補助金も活用しながら計画的に進めていく。